

令和元年度 奈良県森林審議会 概要

1. 日時：令和元年12月18日（水） 14：00～15：30

2. 場所：奈良商工会議所 4階 中ホール

3. 出席委員

岩城 由里子 委員、永田 晶三 委員、岡崎 純子 委員、北村 又左衛門 委員、
谷奥 忠嗣 委員、坪木 直文 委員、西田 多美子 委員、水本 実 委員、
八代田 千鶴 委員

4. 審議会の開会

(1) 定数報告

委員11名のうち9名の委員の出席があり、奈良県森林審議会規程第2条第2項の規定に基づき、本審議会は成立する旨事務局より報告した。

(2) 審議会の公開並びに議事録署名人の指名

奈良県森林審議会規程第5条第1項の規定に基づき、今回の議案については、非公開とすべき内容がないため公開とされた。傍聴人はなし。

議事録署名人には、岩城 由里子 委員と永田 晶三 委員が指名された。

5. 議事及び報告事項

(1) 議事

第1号議案 大和・木津川地域森林計画の変更計画（案）について

第2号議案 吉野地域森林計画の変更計画（案）について

第3号議案 北山・十津川地域森林計画の変更計画（案）について

審議の結果、地域森林計画の変更計画（案）は、全員異議なく原案どおり承認された。

(2) 報告事項

①森林法第10条の2に基づき許可した林地開発行為について

事務局より、平成30年12月18日から令和元年12月17日までに森林法第10条の2に基づき、新規2件、変更7件、面積約114haの許可を行ったことを報告した。

②林地開発審査部会の審議結果について

事務局より、平成30年12月18日から令和元年12月17日までに開催した林地開発審査部会（1件）の概要と審議結果を資料に基づき説明した。

③制度及び指針等検討部会の審議結果について

事務局より、平成30年12月18日から令和元年12月17日までに開催した制度及び指針等検討部会（1件）の概要と審議結果を資料に基づき説明した。

【主な質疑等の内容】

（委員） 大規模な太陽光発電施設設置について、自然環境保護の観点から環境影響評価の対象とするなど、審査の対象になるよう検討していただきたい。

（委員） 林地開発審査部会で審議する基準として開発面積10haとなっているが、防災等の観点から例えば5haとするなど、もう少し小さい面積になるよう検討していただきたい。

（委員） （仮称）奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例における間伐木の処理については、作業をする人が現地の状況を踏まえた現実的な対応ができるような表現になるよう検討いただきたい。

（委員） （仮称）奈良県産材の安定供給及び利用の促進条例における取り組みにおいて、木質バイオマス等の活用とあるが、最近ペレットストーブの需要が増えてきているので県産ペレットの生産促進について検討いただきたい。